

TOPICS!
岡大

教員養成システム を充実



～加賀教師教育開発センター長に聞く

全国の国立教員養成系大学のうち、教員採用実績でベスト10に入る本学。本年度、全学的な教員養成の質向上を図る総合大学初の「教師教育開発センター」を開設しました。また、7月には、小中学校の理数教育で中核的な役割を担う「コア・サイエンス・ティーチャー（CST）」を育成する取り組みもスタート。次々と充実する教員養成システムについて教師教育開発センターの加賀勝センター長に聞きました。

— 教師教育開発センター開設の狙いは何ですか。

「子どもたちや親、地域が複雑な問題を抱える今日。学習指導力ももちろんですが、学内外の多様な関係者とかかわり、それぞれの課題に対応できる力を、教員を目指す全学の学生に身に付けてもらうためです」

— 具体的な指導内容は。

「地域の学校でのボランティア体験や、ベテラン教育者による就職相談など、ここ数年、教育学部生に提供してきた『現場を知る』機会を、教員を目指す他学部生にも広げます。また、4年次に集中していた教育実習や就職関連科目を、1年生から段階的に再構成し、各学年で身に付け

る内容を明確化。1年生から実習予定の母校などを訪問させ、早くから現場を知り、適性を考える機会を増やします。とくに、専門実習が忙しい理系学生は学びやすくなるでしょう。他学部の教員免許取得者のうち、実際に教員になる割合は約1割ですが、これを倍に引き上げたいですね」

— CST育成について教えてください。

「本学では小学校教員免許は教育学部でしか取得できません。しかし、教育学部に進む学生は大半が文系。理科実験などが苦手な傾向があります。子どもたちの理科離れが言われる中、科学の醍醐味を伝えられるとともに、同僚や他校の教員から頼られる教員が求められています。こうした教員を育成する本学のアイデアが（独）科学技術振興機構の本年度『理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー）養成拠点構築事業』に採択され、岡山県教育委員会と連携して取り組むことになりました」

— どのように育成しますか。

「教育学部だけでなく理工系学部も含めた全学の中から、教員志望の資質の高い学生を選抜。大学院修士課程までの6年間かけ、教師教育開

発センターが提供する教職教育や、自然科学研究科、環境学研究科による先端科学の授業を組み合わせた特別プログラムで養成します。第1期生は、今年後期に募集し、来年度から育成スタート。5年半後には、10人程度のCSTを送り出します。また同時に、現職教員が受講できる養成プログラムも用意し、即戦力のCSTも早期輩出する予定です」

— 高校生や地域の教育関係者へメッセージをお願いします。

「質の高い教育実践力を身に付けられるシステムが充実し、地域の教育界にさらに優秀な人材を輩出できる環境が整いました。教師を目指すやう気あふれるみなさんの入学をお待ちしております」



▲教職相談室で、元教師と話し合う教職志望の学生たち